

殺菌剤

ミリオネアフロアブル

インピルフルキサム水和剤

令和7年5月14日付けで以下の適用拡大が登録されました。

【変更内容】

- ・作物名「結球あぶらな科葉菜類（はくさい、キャベツを除く）」、「はくさい」および「キャベツ」を追加する。
- ・作物名「ブロッコリー」を追加する。
- ・作物名「レタス類」を追加する。
- ・作物名「にんじん」を追加する。
- ・作物名「小麦」の希釈倍数「4000倍」に適用病害虫名「なまぐさ黒穂病」を追加する。
- ・作物名「小麦」の適用病害虫名「赤さび病」に使用方法「無人航空機による散布」を追加する。
- ・作物名「小麦」のインピルフルキサムを含む農薬の総使用回数を「5回以内（種子への処理は1回以内、根雪前の散布及び無人航空機散布は合計2回以内、根雪後は2回以内）」に変更する。
- ・作物名「ばれいしょ」の使用方法「種いも散布」の希釈倍数「40倍」を「40～100倍」に、「400倍」を「400～1000倍」に変更する。
- ・作物名「たまねぎ」に使用方法「無人航空機による散布」を追加する。

【変更部分】

作物名	適用病害虫名	希 釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	インピルフルキサム を含む 農薬の 総使用回数
結球あぶらな科 葉菜類(はくさい、 キャベツを除く)	菌核病	4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3回 以内	散布	3回以内
はくさい	菌核病 尻腐病						
キャベツ	株腐病 菌核病						
ブロッコリー	菌核病 黒すす病						
レタス類	菌核病 すそ枯病 灰色かび病						
にんじん	黒葉枯病 斑点病						

次項へ続く

前項より続く

作物名	適用病害虫名	希 釈 倍数	使用液量	使用時期	本剤 の 使用 回数	使用方法	イピルダゾールを含む 農薬の 総使用回数
小麦	雪腐大粒菌核病 雪腐小粒菌核病	2000 ～ 4000 倍	60～150 L/10a	根雪前	2 回 以内	散布	5 回以内 (種子への 処理は 1 回以内、 根雪前の 散布及び 無人航空機散 布は合計2回以 内、 根雪後は 2 回以内)
	うどんこ病 なまぐさ黒穂病 ふ枯病	4000 倍		収穫 7 日前 まで			
	赤さび病	4000 ～ 8000 倍					
		32 倍	0. 8L/10a			無人航空機 による散布	
ばれいしょ	黒あざ病	400～ 1000 倍	－	植付前	1 回	種いも 瞬間浸漬	4 回以内 (種いもへの 処理は 1 回以内、 植付後は 3 回以内)
		400 倍				10 分間 種いも浸漬	
		40～ 100 倍				種いも 100kg 当り 300mL	
		400～ 1000 倍	種いも 100kg 当り 3L				
たまねぎ	夏疫病	4000 倍	100～300 L/10a	収穫前日 まで	3 回 以内	散布	4 回以内
	小菌核病 灰色かび病				4 回 以内		
	灰色腐敗病						
	小菌核病 灰色かび病 灰色腐敗病	64 倍	1. 6L/10a			無人航空機 による散布	

使用上の注意事項の変更

【追加事項】

- ・本剤を無人航空機による散布に使用する場合は次の注意を守ること。
 - ①散布は各散布機種種の散布基準に従って実施すること。
 - ②散布にあつては散布機種に適合した散布装置を使用すること。
 - ③散布中、薬液の漏れのないように機体の散布配管その他散布装置の十分な点検を行うこと。
 - ④散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等に影響を与えないよう、散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。

次項へ続く

前項より続く

【追加事項】

⑤散布終了後は次の事項を守ること。

- 1) 使用後の空の容器は放置せず、安全な場所に廃棄すること。
 - 2) 機体の散布装置は十分洗浄し、薬液タンクの洗浄廃液は安全な場所に処理すること。
- ・無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意すること。

【変更事項】

・蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。かかった場合3日間は給桑しないこと。無人航空機による散布で使用する場合は、給桑しないこと。

使用上の注意事項などについては、製品に貼付されているラベルを参照のこと。

住友化学株式会社